



## 第17回 遠軽IC道の駅検討協議会 議事概要

令和元年8月7日(水) 午後3:30  
遠軽町役場 3階 大会議室

### 1. 開会

#### ● 佐々木町長挨拶

- ・10月末に完成するという事でいよいよオープンが迫っているため、開発局とも具体的な調整が必要となる。
- ・今日の会議は非常に大切なものになるので、十分に議論していただきたい。
- ・周りの市町村からも関心を受けており、オホーツクの玄関口として機能を果たせるようなものになりたい。
- ・採算を取らなければならない施設であり、そのことも留意して議論してほしい。

#### ● 遠藤座長 挨拶

- ・6月には北海道で125番目の道の駅として登録され、本体施設の完成まであと3か月あまりとなり、いよいよオープンが迫ってきた。
- ・今回の検討協議会では、前回の会議からの経過報告や、スケジュールの確認、各種デザイン等について協議いただきたい。

### 2. 議題

#### (1) 施設及び運営の概要について【資料1】

(事務局説明)

- ・10月末の完成へ向けていよいよ大詰めのため、今一度施設および運営の概要について報告する。令和元年6月19日付けで北海道125番目の道の駅として登録され、令和になって最初に登録されたことでも注目を集めるのではと期待している。
- ・主な特徴としては、高規格道路に隣接し、オホーツクへのゲートウェイとして地域の情報を発信するとともに、スキー場に隣接していることから、それを活かしたアクティビティの提供、各種イベント開催の拠点として年間を通じた集客、地域の賑わいを創出することや、広大な敷地を活かし、防災拠点としても利用するものとしている。
- ・指定管理者は「一般社団法人えんがる町観光協会」で、平成31年4月1日から令和4年3月31日までの3年間の指定管理期間となっている。施設の開設期間及び時間については、前回の検討協議会で承認いただいた管理運営指針に則り定めている。2階軽食コーナー、屋外店舗スペースは2月から5月にかけて募集し、6月に決定したところ。2階軽食コーナーのテナントは、「サリーカフェ」となり、コーヒーやパスタ等の販売を予定している。屋外店舗スペースのテナントの「片山商事」では揚げ物、焼き物、そば・うどん等を販売し、「株式会社」ではアイスクリームやパン等



の販売を予定している。屋外店舗は4区画を募集したが、応募は2件のみだった。管理運営体制における人員については管理運営指針に基づいて設定したものであり、(3)イは7月末現在の人員確保状況となっている。

- ・ロゴマークについては、指定管理者である(一社)えんがる町観光協会が選定した。このマークは森の緑をベースに、五円玉から「ご縁がある」→「遠軽」と連想させるもので、白いノルディック調の枝葉のモチーフは木やオホーツクのイメージを強調している。白黒パターンや茶色パターン、アルファベットパターンなどのバリエーションもあり、商品やユニフォーム、PRに活用することでブランドイメージの向上を図る。

(駅長候補者)

- ・人員の確保について、6月から募集しており、外食の責任者1名が今月19日から出勤予定。今月末から来月上旬に広報・企画、総務・経理の面接を予定。パートは物販1名、外食2名、施設管理3名、事務所スタッフ1名、時短パートは清掃員1名が確定。現在、正職員は5名、パートは8名の採用が決まっている。

(座長)

- ・やはり人員の確保が課題であり、特にパートの確保は厳しい状況である。

(2) アクティビティ整備の考え方について【資料2】

(事務局説明)

- ・アクティビティについては一定の指針をもって整備を進めることとし、その案を現在考えている。  
2.(1)の「一般性」「優位性」「話題性」の観点から優先して整備するものを整理する考え方。(2)は魅力的なアクティビティは、目玉を絞ってPRし、良きタイミングで新たな目玉を投入することで息の長い施設にしたい考え方。(3)は指定管理における「道の駅遠軽森のオホーツクの管理に関する基本協定書」別紙3「施設の改修及び修繕等の実施及び費用負担区分表」に基づき、町と指定管理者の費用負担区分により整理するもの。公のものとして判断される備品は町が、集客のための備品は指定管理者が整備する。(4)アクティビティでは無いが、利用者の安全に関する機能などの施設として備えておくべきものは優先的に整備する。例としては、山頂までの管理用道路や屋外トイレがある。
- ・ジップラインは施設の目玉になる予定であり、開業から一定期間経過後に導入できるように整備していきたい。

(駅長候補者)

- ・ツリートレッキングについて、当初は来年のゴールデンウィークからの営業を想定して予定を組んでいたが、来年の夏場にずれ込む可能性があることを聞いている。そうなると思込んでいた収益が



ら 1 千万円超の損失となり、どのように補填するか考えている。草津のスキー場へ視察に行った際に、マウンテンカートが非常に人気だという情報を得たため、ゴールデンウィークに向けて自主事業として導入する予定だが、これだけでは賄いきれない。アクティビティの売り上げは収益に直結するため、事業計画に狂いが生じてしまうことから、ジップラインの導入を早期にお願いしたい。

(事務局)

- ・ ツリートレッキングのスケジュールについては、設計業者との折合いや、施工内容の問題で発注できない段階で、引き続き協議中である。うまくいけばゴールデンウィークに間に合うように整備されるが、現状では不透明。また、同年にジップラインを導入するとすると、ツリートレッキングの印象がぼやけてしまうのではという懸念もある。

(駅長候補者)

- ・ ツリートレッキングは収益に占める割合が非常に大きく、何かしらの対応を検討いただきたい。

(座長)

- ・ ツリートレッキングの導入の詳細はいつ頃決定するのか。

(事務局)

- ・ 発注に至ってないため、言い切ることはできないが、接触している業者によると、ゴールデンウィークに間に合う可能性もある。

(座長)

- ・ 発注時期、完成時期がはっきりした時に、その他のアクティビティについても検討してもらおうこととしたい。

(委員)

- ・ 早く日にちを決めて発注しなくては仕方がない。時間は限られているのだから、相手方を待つのではなく、こちらから話を進めていくべきである。

(座長)

- ・ 開業したのち順次アクティビティが展開されていくと思うが、その前段のPRを観光協会含めてうまくやってほしい。道の駅施設内でもその宣伝を表示するPRは必要である。

(駅長候補者)

- ・ 山場はゴールデンウィークと考えている。ゴールデンウィークには映像として集客を図ることのできるテレビCMでの告知を考えていることから、間に合うようにお願いしたい。

### (3) 各種デザインについて【資料3】

(事務局説明)

- ・ 道の駅内外の各種デザインについて報告するとともに、検討いただきたい。外観のロゴマークについては図のとおり進めている。フロントスペースはインターロッキングでの整備を予定していたが、



冬場の除雪や夏場の乗り物（バッテリーカーなど）のことを考えた長期的な維持管理を見据えた結果、指定管理者の要望もありカラー舗装による整備としたい。身障者用の屋根付き駐車場も 4 台分スペースがあり、そこから道の駅までの間も屋根付きの通路が設置される。

- ・メインエントランス横の壁にはロゴマークの設置を予定しており、3 パターンを考えている。事務局としては①で進めていく予定だが、協議いただきたい。

(委員)

- ・シンプルなのが一番だが、外国人のことを考えるとアルファベットが必要かもしれない。しかし見栄えが良いのは①であり、全体のバランスを考えると②が良いと思う。①の下にアルファベットを併記してはどうか。

(事務局)

- ・そのパターンも作成し検討する。

(事務局説明)

- ・内装のイメージパースについて、床から 2 メートルの壁を羽目板張りとし、その上を白い塗装にしている。天井については岩綿吸音板として白いボードを貼っている。床については長尺塩ビシートを使っており、グレー・緑・ベージュのパターンを作成したが、木の色が映えるという観点からグレーを採用している。
- ・工事の進捗状況は、7 月末現在で全体の約 78% の完成度であり、10 月末の完成を目指して仕上げ工事、設備機器の取り付け工事、機器類の調整検査等を進めていく。
- ・トイレについて、第 7 回の検討協議会でも承認されたとおり、ただのトイレではなく、立ち寄りたくなるトイレとしての魅力を追加したい。例えば長野県のスキー場では個室内の壁にジャンプ台をプリントしており、それをイメージしている。①ロックバレースキー場のチャンピオンコース、②瞰望岩、③コスモス園という 3 つの案に対して意見をいただきたい。利用者の評判を見ながら随時更新や追加を行っていく予定である。

(事務局)

- ・事務局としてはスキー場の景色が一番印象強いと思い、①のパターンで考えている。
- ・③コスモス園については、費用もあまりかからないことから、太陽の丘えんがる公園虹のひろば管理棟のトイレで使うことも検討したい。

(事務局)

- ・道の駅トイレでは男女 1 か所ずつに設置する予定。

(座長)

- ・印象としてはスキー場が良いと思うが、一年を通した時にスキー場というのはどうなのか。

(委員)

- ・夏場にスキー場というのも涼しげで良いのではないか。



(町長)

- ・財源のことも考えなければならない。

(事務局)

- ・トイレの個室は、1階女子トイレは15か所、男子トイレ5か所となっている。

(座長)

- ・導入する箇所数も含めて検討を進めてほしい。

(事務局説明)

- ・掲示板について、フロントスペースから施設の間位置にガラス窓付きの掲示板の設置を予定している。施設の中についてはデジタルサイネージでの情報発信を行うが、この屋外の掲示板については、あえてアナログでの情報発信スペースとしたい。内容については、遠軽をひらがな表記にすることで正しい読み方の浸透を図るもの。①合併した旧4町村の名前を取り入れ駅名表示板をモチーフにしたデザイン、②北海道唯一3つの道の駅がある町という紹介のデザイン、③オホーツクの玄関口として、隣接する自治体と札幌・旭川方面をつなげたデザインの3つを提案する。

(座長)

- ・設置位置はどのあたりになるか。

(事務局)

- ・身障者用の屋根付き駐車場の付近を想定している。

(座長)

- ・格好のいい掲示板の枠を期待している。

(委員)

- ・①がシンプルで良いのではないか。

(委員)

- ・生田原の記載もある、①が良いのではないか。

(委員)

- ・①か②が良いと思う。

(座長)

- ・①が良いという意見が多いが、それを踏まえて検討願いたい。

(事務局説明)

- ・案内看板について、生田原にある「きのこの里」の看板を道の駅案内看板へリニューアルするため、現在発注作業中であり、デザインは8パターン考えており、意見を願いたい。  
①・②はロゴマークとパース図を入れたもの。③・④はロゴを中心としたもの。⑤・⑥はロゴマークと3km先左折の案内が入っているもの。⑦・⑧はロゴマークをメインに文字を⑤・⑥のパターンとは変えたもの。メインの看板の下部にある細長い看板もPRに再利用する。



(事務局)

- ・安国方面から遠軽方面に見える看板が道の駅用、反対側は生田原のPR用として調整している。
- ・事務局で検討した結果としては、冬季のことを考えたとき、雪の色と重なってしまう白地はあまり良くないと考えている。絵、写真が入っているほうが印象に残る。

(駅長候補者)

- ・新しくできる施設なので、文字よりもロゴマークや写真があった方が効果的である。認知がされていけばシンプルな④でも良いが、全くわからない人には①のパス入りの方がより効果的と考えている。

(4) スケジュールについて【資料4】

(事務局説明)

- ・道の駅、スキー場に関する今年度のスケジュールについて、仮にオープン日を12月21日と想定した中でイベントを検討中。また、12月14・15日の土・日曜に町民や検討協議会議員、議会議員を対象とした内覧会を企画予定。事前に応募者を募った上で時間を分けし、施設内外の説明やスタッフの訓練を兼ねて飲食や物販の利用も可能になるように調整している。落成式ではオープンセレモニーを開催し、一般のお客様も入れての花火大会を計画している。スキー場は11月末、例年どおりオープン前に安全祈願祭を行う。スキー場のプレオープンとして12月14・15日に少年団や合宿、町民を限定して先行オープンを計画しているが、ゲレンデや積雪の状況によって柔軟な対応をしたい。プレオープン記念イベントとして指定管理者では、道内外でも人気なスカイランタンのイベントを企画しており、来年以降も継続的に開催したいと考えている。
- ・スケジュールのイメージは、第16回の検討協議会でも概要を説明したが、道の駅施設は10月末までの工期であり、11月上旬には町、オホーツク総合振興局の検定を受ける予定である。外構については駐車場の車道部分の路盤工事がほぼ終わっており、今後は大型車庫への管理用通路、人工降雪機用のポンプ室付近の積みブロック、全体のアスファルト舗装を行う予定であり、今のところ工事は順調に進んでいる。スキー場については、リフトの更新、ナイター照明、人工降雪機、ゲレンデ拡幅の各種工事が11月末までに概ね終了する予定である。11月上旬から下旬にかけて、厨房機器や各種什器、電子機器などの備品を搬入し、11月の下旬から12月上旬にかけてその備品の試運転を行う。飲食、フードコートのメニューについては、厨房機器が搬入され次第、テストキッチンとして実際に厨房で調理スタッフの訓練が行われ、売店やスキー場スタッフについても実地研修を随時行う。
- ・今年度中の遠軽ICの開通を記念して、開発局主催で各種イベントを計画しており、記念植樹や開通前の道路を使ったお絵かき、学校等でのマラソン大会などを予定している。開発局からは今年度中に開通すると正式にリリースされているが、施設の供用開始が遠軽ICの開通と取られると混乱



を招く可能性があるので注意いただきたい。

(座長)

- ・ 建設工事は予定通り進んでいるということで認識した。前回の検討協議会でも話したが、検定が終わってから設備や厨房の搬入をし、試作品を作ることになるため、可能な限り早い段階での検定についても検討していただきたい。

(5) その他

(事務局)

- ・ 次回の会議については未定だが、内覧会や前段の現場見学会を計画しているため、実施の際は通知させていただく。

### 3. 閉会



## 遠軽IC道の駅検討協議会 名簿

## ■委員（敬称略）

遠軽商工会議所 会頭	渡 邊 博 行
（一社）えんがる町観光協会 会長	遠 藤 利 秀
（一社）えんがる町観光協会 生田原地域 代表	杉 本 一 幸
（一社）えんがる町観光協会 丸瀬布地域 代表	伊 藤 友 彦（欠席）
（一社）えんがる町観光協会 白滝地域 代表	矢 木 優（欠席）
遠軽物産協会 会長	西 川 剛
えんがる商工会 会長	管 野 伸 一（代理出席 秋田博副会長）
特定非営利活動法人遠軽町スポーツ協会 会長	佐 渡 淳 道（欠席）
えんゆう農業協同組合 遠軽支所 支所長	鈴 木 慶 樹（欠席）
遠軽青年会議所 理事長	堀 田 裕一郎

## ■オブザーバー

遠軽町 総務部企画課  
総務部危機対策室  
総務部地域拠点施設準備室  
経済部農政林務課  
教育委員会教育部社会教育課

※その他、必要に応じて、関係機関・団体に出席の依頼を行う。

## ■事務局

遠軽町 経済部商工観光課  
経済部建設課

遠軽商工会議所  
（一社）えんがる町観光協会  
えんがる商工会